VMware.2V0-16.25.v2026-07-27.q20

試験コード：	2V0-16.25
試験名称：	VMware vSphere Foundation 9.0 Administrator
認証ベンダー：	VMware
無料問題の数：	20
バージョン：	v2026-07-27
ページの閲覧量：	106
問題集の閲覧量：	212

https://www.jpnshiken.com/shiken/VMware.2V0-16.25.v2026-07-27.q20.html

質問: **1**
管理者は、VCF Operations オーケストレーターアプライアンス上で、VMware vSphere Web Client サービス用の VMware Cloud Foundation (VCF) Operations オーケストレータープラグインを有効にします。
VCF Operationsオーケストレータープラグインを介してvSphere Clientに統合できるvSphereインスタンスの数はいくつですか？
A. 8
B. 15
C. 1
D. 10
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vSphere Web Client 用の VCF Operations Orchestrator プラグインを使用すると、vSphere Client 内で直接オーケストレーション ワークフローを実行できます。
ただし、このプラグインを介してvSphere Clientに統合できるvSphereインスタンスは一度に1つだけです。
* この制限により、vSphere Client環境ごとに一貫した単一のオーケストレーションエンドポイントが確保されます。
その他のオプション（8、10、15）は、vCenterまたはデータソースのスケーリングに適用されますが、Orchestratorプラグインの統合には適用されません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.1 - Orchestratorプラグインの統合に関する制限事項
VMwareドキュメント :vSphere Web Client用vRealize Orchestratorプラグイン

質問: **2**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) Operations for LogsアプライアンスをvSphere Foundationにデプロイする任務を負っています。
.ovaファイルをダウンロードした後、管理者はどのコンポーネントを使用してファイルをデプロイしますか？
A. vSphere Client
B. VCF操作

C. VCFオートメーション
D. VCFフリートマネジメント
正解: **A (**コメントを発表する**)**
VCF Operations for Logs OVAアプライアンスをデプロイするには：
* vSphere Client は、.ova および .ovf テンプレートを vCenter 環境に直接デプロイするために使用されます。
* 展開後、アプライアンスを構成してVCFと統合することができます。
その他の選択肢：
* A. VCFフリート管理# OVA展開ではなく、マルチインスタンス管理に使用されます。
* C. VCFオートメーション# アプライアンスの展開ではなく、自動化ワークフローを提供します。
* D. VCF オペレーション# 監視および分析プラットフォーム。OVA インストールには使用されません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - ログアプライアンス向け VCF 操作のデプロイ VMware ドキュメント: vSphere Client を使用した OVF/OVA テンプレートのデプロイ

質問: **3**
管理者は、vSphere Lifecycle Managerイメージをインポートし、メンテナンスモードのホストが2台ある6台のホストを含むクラスタに適用する作業を担当します。管理者はvSphere Clientを使用してクラスタに移動し、修復設定を編集して並列修復を有効にし、「すべて修復」ボタンをクリックして修復プロセスを実行します。
この修復プロセスの期待される結果は何ですか？
A. メンテナンスモードではない4台のホスト上で、イメージの修復が並行して実行されます。メンテナンスモードのホストは修復されません。
B. メンテナンスモードのホスト上でイメージの修復が並行して行われ、完了するとメンテナンスモードではないホスト上でも並行して修復が行われます。
C. メンテナンスモードではない4台のホストに対して、イメージが順番に修復されます。メンテナンスモードのホストは修復されません。
D. メンテナンスモードのホスト上でイメージが並行して修復されます。メンテナンスモードではないホストは修復されません。
正解: **(**正解を表示します**)**
vSphere Lifecycle Manager (vLCM) を並列修復機能を有効にして使用する場合、以下のルールが適用されます。
* 並行修復は、既にメンテナンスモードになっているESXiホストにのみ適用されます。
* このモードでは、vLCM はホストを自動的にメンテナンス モードに移行しません。
* 同様に、修復後も自動的にメンテナンスモードを終了しません。
* メンテナンスモードになっていないホストはスキップされます。

* 並列修復が有効になっている場合、vLCM は既にメンテナンス モードになっているホストのみを修復します。
* メンテナンスモードになっていないホストは、変更されません。
* 修復処理は、対象となるすべてのホストに対して並行して実行されます。
* この場合、6台のホストのうち2台がメンテナンスモードになっています。これらの2台のホストは並行して修復されます。
* 残りの4台のホスト（メンテナンスモードではないもの）は、一切修復されません。
他の選択肢が間違っている理由：
* A. メンテナンスモードではない 4 台のホストが並行して修復されます。##誤り。修復するには、ホストはすでにメンテナンスモードになっている必要があります。
* B. メンテナンスモードのホストを最初に処理し、次にメンテナンスモードではないホストを処理する##誤り。メンテナンスモードではないホストはスキップされ、その後修復されません。
* C. 4 台のホストが順次修復され、その他はスキップされました。##誤りです。並列修復では、メンテナンス モード以外のホストは修復されません。
* D. メンテナンスモードのホストは並行して修復され、その他はスキップされます##正しく、VMware のドキュメントと一致します。
参考文献：
VMware vSphere 9.0 ドキュメント - Lifecycle Manager イメージの並列修復 VMware vSphere 9.0 ドキュメント - 並列修復は、既にメンテナンス モードになっている ESX ホストにのみ適用されます

質問**: 4**
VMware Cloud Foundation (VCF) Operations for Logsにおいて、管理者はフィールドの値の範囲をどこで視覚化できますか？
A. [フィールドの管理] ペインの鉛筆アイコンをクリックします。
B. イベント表のフィールドをクリックします。
C. [フィールドの管理]でフィールドをクリックします。
D. フィールドテーブルのフィールドをクリックします。
正解**: (**正解を表示します**)**
VCF Operations for Logsでは、管理者はクエリ、フィールド、グラフを使用してログを分析できます。重要な機能の一つは、特定のフィールドの値の範囲を表示できることです。
ログクエリが実行されると、結果はEventsテーブルに表示されます。
* イベントテーブルに表示される各フィールドは、インタラクティブです。
* イベントテーブルのフィールドをクリックすると、管理者はデータをドリルダウンして、その値の分布（範囲を視覚化できます。通常は、ヒストグラムまたはグループ化されたデータセットの形式で表示されます。
これにより、どのような値が存在し、どのくらいの頻度で出現するかについての洞察が得られ、トラブルシューティング、異常検知、クエリの改善に役立ちます。

他の選択肢はどうでしょうか？
* A. [フィールドの管理] ペインの鉛筆アイコンをクリックします。# フィールドを編集または抽出するために使用され、範囲を視覚化するために使用されません。
* C. [フィールドの管理] でフィールドをクリックします。リアルタイムの値の範囲ではなく、フィールドの定義と設定が表示されます。
* D. フィールドテーブルのフィールドをクリックします。フィールドテーブルには定義済みのフィールドが表示されますが、値の範囲の視覚化は提供されません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.3 - イベントテーブルのスマートフィールドとフィールド値ヒストグラム VMware Cloud Foundation 9.0.3 - イベントテーブルのログ、クエリ、フィールドの分析

質問: **5**
管理者は、8ノードからなる新しいVMware vSAN Express Storage Architecture（ESA）クラスタをデプロイする任務を負っている。
これを実現するために必要な最低限の条件を3つ挙げてください。（3つ選択してください。）
A. 10GbEネットワークインターフェース
B. 256GBメモリ
C. 25GbEネットワークインターフェース
D. PCIeフラッシュデバイス（NVMe）
E. SASソリッドステートディスク（SSD）
F. 128GBメモリ
正解: **C,D,F (**コメントを発表する**)**
SAN ESA（Express Storage Architecture）の最小要件は、OSAとは異なります。
* 高性能トラフィックを処理するには、25GbE NICが必要です。(C)
* ストレージにはNVMe PCIeフラッシュデバイスを使用する必要があります。(D)
* ホストあたり最低128GBのメモリが必要です。(F)
その他の選択肢：
* A. 10GbE# vSAN OSAでのみサポートされ、ESAではサポートされません。
* B. 256GBメモリ# 大規模なワークロード向けに推奨、最小要件ではありません。
* E. SAS SSD# ESAではサポートされていません。NVMeが必要です。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - vSAN ESA ハードウェア要件
VMwareドキュメント :vSAN ESAの導入要件

質問: **6**
管理者は、既存のVMware vSANオリジナルストレージアーキテクチャ（OSA）クラスタにおけるストレージ利用率を最適化する任務を負っています。
クラスターの構成は以下のとおりです。

* ノードごとに1つのディスクグループを持つ8ノードクラスタ。
* 仮想マシン（VM）は、1つの障害に対応できるRAID-1ストレージポリシーで構成されています。
* ストレージ使用率は70%です。
管理者は、クラスターへの影響を最小限に抑えつつ、既存のストレージ使用量を削減するために、どのような対策を講じることができますか？
A. クラスター上で重複排除と圧縮を有効にします。
B. ストレージポリシーを3障害 - RAID-1に変更します。
C. クラスターでのみ圧縮を有効にします。
D. ストレージポリシーを 2 障害 - RAID-6 に変更します。
正解: **D (**コメントを発表する**)**
avSANオリジナルストレージアーキテクチャ（OSA）クラスタでは、ストレージポリシーの選択がストレージの効率性と回復力に直接影響します。
* 現在の設定:
* 8ノード構成のクラスタ、ノードごとに1つのディスクグループ。
* VM は FTT=1 RAID-1 (ミラーリング) ポリシーを使用しています。
ストレージの使用率は既に70%に達しています。
* RAID-1 (ミラーリング):
* 各データはミラーリングされるため、2倍のストレージ容量が必要です。
* 空間効率約50%。
* RAID-6（イレイジャーコーディング、FTT=2）：
* 最低6台のホストが必要ですが、ここでは8台で十分です。
* 完全なミラーリングではなくイレイジャーコーディングを使用することで、約67%のスペース効率を実現しています。
* RAID-1よりも少ないスペースで、2台のホスト障害に対する耐性を提供します。
したがって、RAID-1 FTT=1からRAID-6 FTT=2に切り替えることで、ストレージ全体の利用率を削減しつつ、耐障害性を向上させることができます。
他の選択肢はどうでしょうか？
* A. 重複排除と圧縮を有効にする##OSA では、これを有効にするにはクラスタ全体のディスク グループの再フォーマットが必要であり、これは中断を伴うため、影響が最小限の選択肢ではありません。
* B. ポリシーを 3 障害 - RAID-1 に変更します。冗長性は向上しますが、より多くの容量を消費し、利用率が悪化します。
* C. 圧縮のみを有効にする##OSAでは利用できません（ESAのみ）。OSAは重複排除と圧縮を同時にサポートしており、圧縮のみはサポートしていません。
* D. 2 障害への変更 - RAID-6##耐障害性の要件を満たし、ストレージ使用量を削減し、8 ノード OSA クラスタでサポートされます。
参考文献：

VMware vSAN 9.0 ドキュメント - RAID-5/6 イレイジャーコーディングには 6 台以上のホストが必要で、スペース効率が向上します VMware vSAN 設計ガイド - RAID-1 と RAID-5/6 の効率と要件の比較 VMware Cloud Foundation 9.0 ドキュメント - ストレージポリシーの変更により、クラスタ全体の再フォーマットなしでオンライン再構成がトリガーされます

質問: **7**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) Operations でログから通知とメトリックを VCF Operations に送信するように設定するにはどうすればよいですか？
A. VCF操作によるログの統合を設定します。
B. VCF Operations for Logs からウィザードを起動します。
C. VCF Operationsからウィザードを起動します。
D. VCF操作を通じて統合を設定します。
正解: **D (**コメントを発表する**)**
VMware Cloud Foundation (VCF) Operations のログを設定して通知やメトリックを送信できるようにするには、管理者は VCF Operations 内の統合ワークフローを使用する必要があります。
* 統合の設定は、VCF Operations の [管理] > [統合] ページから一元的に行います。
* ここでは、VCF Operations for Logs データソースを追加し、認証情報を構成し、アラート用の Webhook を設定します。
* 統合が完了すると、VCF Operations for Logs のデータは VCF Operations ダッシュボードで利用でき、通知やメトリクスに使用できます。
このプロセスは「VCF Operations for Logs」から直接起動されるのではなく、すべての統合（vCenter、vSAN、NSX、およびログ）が一元管理されるVCF Operations自体から起動されます。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.2 - VCF Operations とデータ ソースの統合 VMware Cloud Foundation 9.0.3 - ログ統合のための VCF Operations の構成

質問: **8**
VMware Cloud Foundation (VCF) Operations for Logs のどの機能が、根本原因分析とトラブルシューティングを容易にしますか？
A. ログ転送
B. アラート
C. ダッシュボード
D. ログクエリ
正解: **(**正解を表示します**)**
VCF Operations for Logsの機能の中で、根本原因分析やトラブルシューティングに最も役立つのは、ログクエリです。

* ログイベントの検索、フィルタリング、および相関分析を可能にし、問題の診断に役立ちます。
* ログ転送 (A)# ログを分析ではなく別の場所に送信します。
* アラート (B)# 問題について通知しますが、調査の詳細は提供しません。
* ダッシュボード (C)# 視覚化を提供しますが、根本原因分析にはクエリが必要です。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - VCF ログ操作機能
VMwareドキュメント：根本原因分析のためのLog Insightの使用

質問: **9**
管理者は、新しいVMware vSANクラスタを作成するよう指示されました。管理者には以下の情報が提供されています。
* 高性能アプリケーションをホストする必要がある。
* ワークロードはレイテンシに依存します。
* ワークロード、コンピューティング、ストレージはvSANクラスタ内に存在する必要があります。
管理者はこのvSANクラスタに対してどの構成を選択すべきでしょうか？
A. vSANオリジナルストレージアーキテクチャ（OSA）ストレッチドクラスタ
B. vSANストレージクラスタ
C. vSANオリジナルストレージアーキテクチャ（OSA）
D. vSAN Express Storage Architecture (ESA)
正解: **(正解を表示します)**
作業負荷要件は以下のとおりです。
* 高性能アプリケーション
* レイテンシに依存するワークロード
* コンピューティングとストレージはvSANクラスタ内に配置する必要があります
正しい選択肢はvSAN Express Storage Architecture（ESA）です。理由は以下のとおりです。
* ESAは、高性能かつ低遅延のアプリケーション向けに設計されています。
* NVMeベースのストレージデバイスと25GbEネットワークを活用することで、OSAと比較してIOPSの向上とレイテンシの低減を実現しています。
* OSA（Original Storage Architecture）は旧式で効率が低い。
* OSA ストレッチド クラスター (A) は、サイト間の回復力のためのものであり、特にパフォーマンスを目的としたものではありません。
* vSANストレージクラスタ（B）は一般的な用語であり、特定のものではありません。
参考文献：
VMware vSAN 9.0 - ESAとOSAのアーキテクチャ比較
VMwareドキュメント :vSAN Expressストレージアーキテクチャ

質問: **10**

管理者は、カスタムのVMware Cloud Foundation （VCF）オペレーションWeb証明書を作成する任務を負っています。
VCF Operationsで使用するために証明書が満たさなければならない3つの要件は何ですか？ （3つ選択してください。）
A. 証明書ファイルでは、すべての証明書と秘密鍵はPEM形式である必要があります。
B. 証明書ファイルでは、サーバー証明書は証明書の順序で最後になければなりません。
C. VCF Operations 証明書では、Subject Alternative Name (SAN) 拡張機能を使用できません。
D. 証明書ファイルでは、サーバー証明書が証明書の順序で最初になければなりません。
E. 証明書ファイルには、サーバー証明書、秘密鍵、およびすべての発行証明書が含まれている必要があります。
F. 証明書ファイルでは、すべての証明書と秘密鍵はPFX形式である必要があります。
正解: **(**正解を表示します**)**
VCF Operationsでは、カスタムSSL証明書が以下の要件を満たすことを要求しています。
* 証明書と秘密鍵はPEM形式である必要があります。(A)
* サーバー証明書はファイル内で最初に記載する必要があります。(D)
* ファイルには、サーバー証明書、秘密鍵、および完全な証明書チェーン (発行/中間) が含まれている必要があります。
/root CA). (E)
なぜ他人は間違っているのか：
* B. サーバー証明書は最後です。間違いです。最初にする必要があります。
* C. SAN拡張機能は使用できません# 間違いです。SANはサポートされており、推奨されています。
* F. PFX フォーマット# VCF 操作ではサポートされていません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.2 - VCF Operations の SSL 証明書要件 VMware ドキュメント: vRealize Operations 証明書の置き換え

質問: **11**
VMware vSAN環境におけるデータ冗長性を確保するために、仮想マシン （VM）ストレージポリシーのどのルールが構成されますか？
A. 許容できない
B. オブジェクトあたりのディスクストライプ数
C. ストライプ幅
D. フラッシュ読み取りキャッシュ予約
正解: **(**正解を表示します**)**
vSANにおけるデータ冗長性を制御するVMストレージポリシールールは、許容できない障害 （FTT）です。
* vSANがデータ可用性を維持しながら許容できるハードウェア障害 （ホスト、ディスク、ネットワーク）の数を定義します。

* 構成には、RAID-1（ミラーリング）、RAID-5/6（イレイジャーコーディング）が含まれます。
その他の選択肢：
* B. オブジェクトごとのディスクストライプ数# パフォーマンスストライピングを定義しますが、冗長性を定義するものではありません。
* C. ストライプ幅# 上記と同じで、重複はありません。
* D. フラッシュ読み取りキャッシュ予約# キャッシュのパフォーマンスに関係し、冗長性には関係しません。
参考文献：
VMware vSphere 9.0 - vSANにおけるストレージポリシールール
VMwareドキュメント :vSANの許容できない障害

質問: **12**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) Operations で、vSAN 9.0 のストレージ操作の拡張機能を有効にする必要があります。
高度な診断トラブルシューティング、ベンチマーク、最適化を有効にするために、完了しなければならない3つの前提条件となる手順は何ですか？
（3つ選択してください。）
A. 設定は不要です。新規診断の実行は自動的に有効になります。
B. 対象のvCenterでvSANパフォーマンスサービスを有効にして起動します。
C. vCenter統合インスタンス用のvSANアカウントを設定します。
D. VCFオペレーションサービスアカウントにvSANオブジェクトに対する管理権限を割り当てます。
E. vCenter Integrationインスタンスで構成された認証情報にvSANオブジェクトへのアクセス権を割り当てます。
F. vSANアダプタが存在する各VCFオペレーションノードでポート5989を開きます。
正解: **(**正解を表示します**)**
VCF Operations（診断トラブルシューティング、ベンチマーク、最適化）におけるvSAN 9.0のストレージ操作の拡張機能を有効にするには、管理者はvSANの健全性、パフォーマンス、およびアクセス許可が適切に設定されていることを確認するためのいくつかの前提条件を完了する必要があります。
* 対象のvCenterでvSANパフォーマンスサービスを有効にして起動します（B）：
* クラスタレベルの監視を行うには、vSANパフォーマンスサービスを有効にする必要があります。
* これは、VCFオペレーションにおける診断およびベンチマーク機能に必要なテレメトリデータを提供します。
* このサービスを有効にしないと、パフォーマンス指標は収集されません。
* vCenter統合インスタンス（C）用のvSANアカウントを設定します。
* VCF OperationsがvSANデータ収集のためにvCenterと通信できるように、専用のvSANサービスアカウントを構成する必要があります。

* これにより、監視業務に対する安全かつ役割に応じたアクセスが保証されます。
* vCenter Integrationインスタンスで構成された認証情報を割り当てて、vSANオブジェクトにアクセスできるようにします（E）：
* vCenter統合で使用される認証情報には、vSANオブジェクト（データストア、クラスタオブジェクト、ヘルスチェックなど）にアクセスするために必要な権限が付与されている必要があります。
* これにより、VCF Operations が権限エラーなしで診断、ベンチマーク、および最適化機能を実行できるようになります。
他の選択肢が間違っている理由：
* A. 設定は不要です。新しい診断の実行が自動的に有効になります:#誤り。
これらの高度な機能を有効にするには、事前に設定が必要です。
* D. VCF Operations Service Account に vSAN オブジェクトに対する管理権限を割り当てる:#範囲が広すぎるため、ベストプラクティスではありません。代わりに、vCenter 統合アカウント (オプション E) を介して特定の権限を割り当てることをお勧めします。
* F. vSANアダプタが存在する各VCFオペレーションノードでポート5989を開きます。#VCF 9.0でvSANの高度な診断を有効にするためには必要ありません。vSANオペレーションはvCenter接続に依存しており、ポート5989に直接接続する必要はありません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 ドキュメント - vSAN と VCF の運用統合 VMware vSphere 9.0 - vSAN パフォーマンス サービス要件 VMware ドキュメント: vSAN パフォーマンス サービスの構成

質問: **13**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) インストーラアプライアンスを正常に展開し、新しい VMware vSphere Foundation (VVF) の展開を開始しました。VMware ESX ホストは電源がオンになっており、すべてのハードウェアおよび接続要件を満たしています。
vSphere Foundationの導入を開始するための次のステップは何ですか？
A. すべてのESXホストでSSHを有効にします。
B. VCFインストーラーの展開ウィザードを起動します。
C. VCFインストーラーを使用してSDDCマネージャーをインストールします。
D. vCenter Server Applianceを手動でデプロイします。
正解: **(正解を表示します)**
VCFインストーラアプライアンスのデプロイが成功し、ESXiホストの電源がオンになっていて前提条件を満たしていることを確認したら、次のステップは次のとおりです。
* VCFインストーラーのデプロイメントウィザードを起動します。このウィザードは、vSphere Foundationのホストのオンボーディング、vCenterのデプロイメント、およびクラスタのセットアップを管理者に案内します。
その他の選択肢：
* A. すべての ESX ホストで SSH を有効にする # トラブルシューティング時以外は不要です。

* C. VCFインストーラーを使用してSDDCマネージャーをインストールします。# これは、vSphere Foundationのデプロイメントではなく、完全なCloud Foundationのデプロイメントにのみ適用されます。
* D. vCenter Server Appliance を手動でデプロイする# インストーラーウィザードはこれを自動化します。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - vSphere Foundation 用 VCF インストーラーの使用
VMware ドキュメント: VCF インストーラーの展開ワークフロー

質問: **14**
VMware Cloud Foundation (VCF) Operations for Logs ダッシュボードにウィジェットを追加するには、どのような方法が 2 つありますか？ 2 つ選択してください。）
A. 既存のダッシュボードからウィジェットを複製します。
B. ログの探索でウィジェットを作成し、「ダッシュボードに追加」をクリックします。
C. ウィジェットをダッシュボードのデザインペインにドラッグアンドドロップします。
D. ダッシュボードのデザインペインにウィジェットをインポートします。
E. Management Pack Builder を開き、ウィジェットを複製します。
正解: **(正解を表示します)**
VCF Operations for Logsダッシュボードにウィジェットを追加するには、2つのサポートされている方法があります。
* エクスプローラーログからウィジェット（クエリ結果など）を作成し、「ダッシュボードに追加」を選択します。（B）
* ダッシュボードデザインペイン - デザインインターフェースを使用してウィジェットをドラッグアンドドロップします。(C) その他のオプション:
* A. 既存のダッシュボードからウィジェットを複製する# サポートされていない方法です。
* D. デザインペインでウィジェットをインポートします。# インポートはダッシュボード用であり、個々のウィジェット用ではありません。
* E. 管理パックビルダー# ログダッシュボードウィジェットとは関係ありません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.3 - VCF Operations for Logs でのダッシュボードの作成とカスタマイズ VMware ドキュメント: Log Insight ダッシュボードとウィジェット

質問: **15**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) Operationsのアラートを設定し、アラートが発生した際に、関連する関係者のみに通知するようにする役割を担います。
どの設定手順で要件を満たせますか？
A. 出力フォルダにファイルを書き込む通知を設定します。
B. 重大なアラートのみ通知するように設定します。

C. 特定の通知受信者への通知を設定します。
D. 通知に汎用的な連絡先情報を使用するように設定します。
正解: **(**正解を表示します**)**
VCF Operationsでは、アラートは通知設定で構成できます。関連する関係者のみがアラートを受信するようにするには、次の点に注意してください。
* 通知の受信者を具体的に指定できます。
* これにより、アラート疲れを防ぎ、チームは自分たちが担当するアラートのみを確認できるようになります。
その他の選択肢：
* A. ファイルへの書き込み# 利害関係者への通知には使用しません。
* B. 重要なアラートのみ# アラートの量は減りますが、関連する受信者には依然としてターゲットが絞られません。
* D. 一般的な連絡先情報# 広範囲のグループに送信され、選択的ではありません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - アラートと通知の設定
VMwareドキュメント :vRealize Operationsでの通知の設定

質問: **16**
管理者は、VMware Cloud Foundation (VCF) インストーラーウィザードを使用してVMware vSphere Foundation をデプロイする準備をしています。ホストのオンボーディング中に、VMware ESX ホストそれぞれに異なる root パスワードが設定されていることが判明しました。
インストールを続行するには、どの展開方法を使用する必要がありますか？
A. ウィザードの手順に従って、ステージング中にホスト認証情報を上書きします。
B. デプロイメントウィザードを使用して、ホストごとに認証情報を手動で入力します。
C. すべてのESXホストでパスワードの有効期限を設定します。
D. JSON仕様ファイルを使用して、ホストごとの認証情報を定義します。
正解: **(**正解を表示します**)**
VMware vSphere FoundationをVCFインストーラーウィザードを使用してデプロイする場合、ホストのオンボーディングには一貫したアクセス認証情報が必要です。
* ESXホストのrootパスワードが異なる場合、ウィザードは単一の認証情報を使用して処理を進めることができません。
* この場合、管理者はJSON仕様ファイルを使用してホストごとの認証情報を定義し、各ホストが正常にオンボーディングされるようにする必要があります。
* JSON仕様では、ホスト固有のパラメータ（IPアドレス、ホスト名、rootパスワード、ネットワークなど）を定義できます。
他の選択肢は誤りです。
* A. ウィザードに進み、ステージング中にホスト認証情報を上書きする# サポートされていません。

* B. デプロイメントウィザードを使用し、ホストごとに認証情報を手動で入力します。# ウィザードでは統一された認証情報が必要です。
* C. すべての ESX ホストでパスワードの有効期限を設定します。# デプロイメントとは無関係であり、障害の原因となります。
参考文献：
VMware Cloud Foundation デプロイメント ガイド - JSON 仕様を使用したホストのオンボーディング (インストーラーのドキュメントに記載)。
VMwareドキュメント :VCFデプロイメントにJSON仕様を使用する

質問: **17**
VMware ESXホストでロックダウンモードを有効にするメリットは何ですか？
A. ネットワークパフォーマンスを向上させます。
B. ESXホストへの直接アクセスを制限し、セキュリティを強化します。
C. 仮想マシン (VM) に利用可能な CPU およびメモリ リソースを増加させます。
D. 仮想マシンの管理を簡素化します。
正解: **(**正解を表示します**)**
ESXiホストのロックダウンモードは、ESXiホストへの直接ログインを制限するセキュリティ機能です。
* 有効化されると、管理者は（例外ユーザーを除き）直接DCUI/SSH アクセスではなく、vCenter Server を介してホストを管理する必要があります。
* これにより、不正なローカルアクセスが防止され、全体的なセキュリティコンプライアンスが向上します。
その他の選択肢：
* A. ネットワークパフォーマンスの向上# 関係ありません。
* C. VM の CPU/メモリを増加させます。# 関係ありません。
* D. VM管理を簡素化する# 実際には、直接管理がより制限されます。
参考文献：
VMware vSphere 9.0 - ESXi ロックダウンモードの概要
VMwareドキュメント :ESXiのロックダウンモード

質問: **18**

管理者は、vSphere ネットワークと Foundation Load Balancer を使用して、VMware vSphere Foundation (VVF) 環境でスーパーバイザーを有効にする作業を任されています。vSAN をバックエンドとするクラスタは、vSphere Distributed Switch で構成されています。
vSphereネットワークを使用してスーパーバイザを有効にする場合、管理者はどの2つの操作を実行する必要がありますか？
（2つ選択してください。）
A. vSphere ネームスペース テンプレートを選択して、初期ネームスペースの制限を定義します。
B. スーパーバイザ制御プレーンVMに静的IPアドレス範囲を提供します。
C. BGPまたはスタティックルーティングを使用してTier-0ゲートウェイを設定します。
D. スーパーバイザーをデプロイする前に、VM サービスを有効にしてください。
E. vSphere 分散スイッチと対応するポートグループを割り当てます。
正解: **B,E** (コメントを発表する)
vSphereネットワークとFoundationロードバランサーを使用してTanzuでスーパーバイザークラスタを有効にする場合：
* スーパーバイザー制御プレーンVMには、専用のアドレスでデプロイできるように、静的IPアドレス範囲を指定する必要があります。(B)
* スーパーバイザネットワーク用に、avSphere Distributed Switch (VDS) に適切なポートグループを割り当てる必要があります。(E) その他のオプション:
* A. 名前空間テンプレート# スーパーバイザーが有効になった後はオプションであり、セットアップ時には必須ではありません。
* C. Tier-0 ゲートウェイ# これは NSX ネットワークに適用され、vSphere ネットワークには適用されません。
* D. VM サービス# スーパーバイザーの後に有効化されます。前提条件ではありません。
参考文献：
VMware vSphere 9.0 - vSphere Networking を使用したスーパーバイザークラスタの有効化 VMware ドキュメント: スーパーバイザーのセットアップとネットワーク要件

質問: **19**
VMware Cloud Foundation (VCF) のどの運用機能を使用すると、VMware vSphere Foundation (VVF) 環境の監視と最適化が可能になりますか？
A. インテリジェントアラート
B. キャパシティアナリティクス
C. Log Insightとの連携
D. インフラストラクチャの可視性
正解: (正解を表示します)
VMware Cloud Foundation (VCF) Operations において、VMware vSphere Foundation (VVF) 環境の監視と最適化を直接可能にする機能は、Capacity Analytics です。

* キャパシティアナリティクスは、リソース利用状況、キャパシティ予測、最適化に関するリアルタイムおよび予測的な洞察を提供します。
* 過去のデータとリアルタイムの利用状況データを分析して将来のワークロード需要を予測し、管理者が事前に拡張計画を立てたり、ワークロードを適正な規模に調整したりできるようにします。
* これには、ワークロードが効率的に配置され、ボトルネックや無駄を回避できるようにするための、シナリオモデリング、ワークロードの最適化、リソースの再利用が含まれます。
他の選択肢はどうでしょうか？
* A. インテリジェントアラート# 事前警告と推奨事項を提供しますが、最適化ではなく、問題の検出と通知に重点を置いています。
* C. Log Insight 統合# ログ分析とトラブルシューティングを可能にしますが、容量最適化はできません。
* D. インフラストラクチャの可視性# 監視と可視性を提供しますが、予測最適化は実行しません。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0.4 - VCF Operations におけるキャパシティの最適化とパフォーマンスの向上 VMware Cloud Foundation 9.0.4 - キャパシティ分析の予測と最適化の詳細 VMware Cloud Foundation 9.0.1 - VCF Operations の機能領域: 運用管理は監視と最適化を提供します

質問**: 20**
管理者は、vSphereコンポーネントを接続モードでライセンス認証した後、会社のセキュリティ制限（違反は許されない）を満たすために、切断モードに切り替えました。
VMware vSphere Foundationライセンスの有効性を維持するために、管理者は何をすべきですか？
A. 接続モードに切り替え、VCF OperationsがVCF Business Servicesコンソールから新しいライセンスファイルをダウンロードしたことを確認し、その後、少なくとも365日に1回は切断モードに切り替えてください。
B. VCF OperationsインスタンスとVCF Business Servicesコンソール間で、少なくとも180日に1回、登録ファイルとライセンスファイルを手動で交換します。
C. なし。ライセンスは永久です。
D. VCF Operationsにインターネット接続を提供し、少なくとも180日ごとに1回、VCF Business Servicesコンソールから新しいライセンスファイルをダウンロードしてください。
正解**: B (**コメントを発表する**)**
vSphere Foundationにおける切断モードのライセンスについて：
* 管理者は、登録ファイルを手動でエクスポートし、VCF Business Services コンソールにアップロードしてから、ライセンスファイルを VCF Operations にインポートする必要があります。

* ライセンスの有効性を維持するためには、このプロセスを180日ごとに繰り返す必要があります。
その他の選択肢：
* A. 365日ごとに接続モードに切り替える# 間違いです。180日が必要です。
* C. ライセンスは永続的です# 正しくありません。サブスクリプションベースのライセンスは更新が必要です。
* D. 180日ごとにインターネット接続を提供する# セキュリティ制限に違反します（切断モードが必要です）。
参考文献：
VMware Cloud Foundation 9.0 - 接続型および切断型ライセンスモード VMwareドキュメント :[vSphere FoundationライセンスとVCFビジネスサービス]